TRANSFERMEDICALCARE

質問があるときは?

不安なことや疑問があれば、どんなことでも医師や看護師などの医療スタッフに相談しましょう。例えば、以下のようなことを話してみるのも良いかもしれません。

- 今の自分の心臓の状態
- これからどのような治療が必要か
- 日常生活で気をつけるべきこと
- 将来の健康リスク

おわりに

あなたの健康を守るためには、これからの移行医療がとても大切です。成人になっても、定期的に心臓の状態をチェックし、専門の医師とともに健康を管理していきましょう!

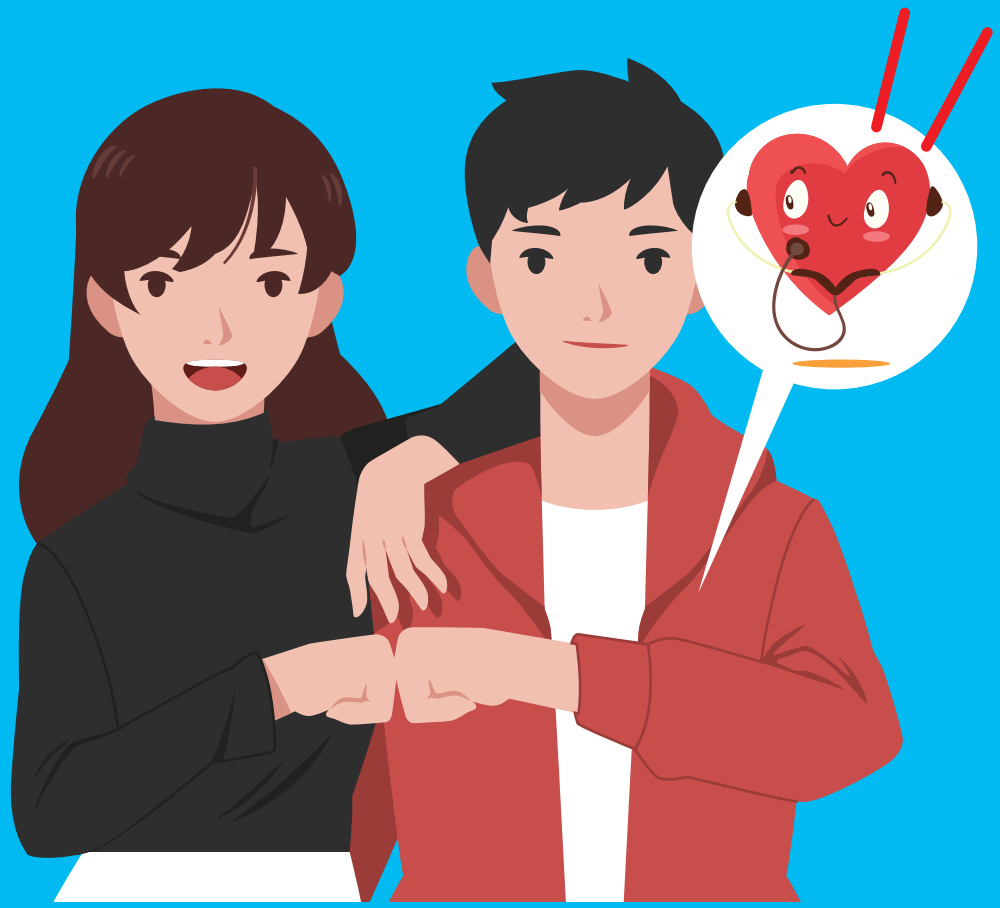
ご不明な点があれば、どうぞお気軽にお問い合わせください。

岡山大学病院　脳卒中・心臓病等総合支援センター
成人先天性心疾患センター

先天性心疾患の移行医療のご案内

先天性心疾患をお持ちの患者さまへ

～成人循環器内科への移行ガイド～



岡山大学病院　脳卒中・心臓病等総合支援センター
成人先天性心疾患センター
〒700-8558　岡山市北区鹿田町 2-5-1

先天性心疾患の移行医療のご案内

01 はじめに

あなたが今まで小児の頃から受けてきた心臓の治療は、成長して大人になってもとても重要です。このパンフレットでは、これからの移行医療について、わかりやすく説明します。

02 どうして成人の医療が必要なの?

成長に伴い、心臓や体の状態が変わることがあります。また、成人期には新しいライフステージが始まり、以下のように生活や健康に新たな影響を与えるイベントも増えます。

- **体の変化:** 成長や加齢に伴い、心臓の状態も変わります。
- **新しい挑戦:** 仕事や結婚、妊娠など、心臓に影響を与えるライフイベントが増えます。
- **大人のケアが必要:** 子どもの頃の治療とは異なる、成人の体に合ったケアが必要です。

03 次のステップ:成人循環器内科への移行

これから、あなたの心臓の健康を守るためには、成人循環器内科の専門医による継続的なフォローがとても大切です。

小児科からの移行

今までの小児科の先生から、成人を専門とする医師へバトンタッチします。これにより、今後のライフイベントや健康状態の変化にも対応できる治療が受けられます。

自分で管理する力をつける

成人期には、自分自身で健康を管理する力が大事です。診察やお薬の管理をしっかり行い、自分の病気について理解を深めましょう。

定期的な受診

定期的に医師の診察を受けることが、長期的な健康維持に繋がります。特に、心臓の状態が変わる前に対処することが重要です。

先天性心疾患をお持ちの患者さまへ ～成人循環器内科への医療移行ガイド～

04 どんなことに気をつけたらいいの?

移行後も、心臓の健康を守るためにいくつか注意点があります。

内服薬がある方は薬を忘れずに飲む

心臓の負担を軽減するために、お薬をきちんと飲みましょう。お薬を止めてしまうと症状が悪化することがあります。

定期検診を大切に

「今は大丈夫」と感じていても、定期検診を忘れずに受けてください。早期に異常を見つけることで、大きな問題を防ぐことができます。

運動や生活習慣に気をつける

適度な運動や、バランスの取れた食生活を心掛けましょう。あなたに合った運動量や食事については、担当医に相談してください。

もし妊娠や出産を考えているなら…

特に女性の患者さまへ。妊娠や出産は心臓に負担をかけることがあります。妊娠を希望する場合は、必ず主治医に相談し、妊娠前に心臓の状態をしっかり確認してもらいましょう。

05 成人循環器内科を受診する方法

成人循環器内科への移行は難しいことではありません。以下を参考にして下さい。

小児科の先生に相談する

小児科での治療歴や診断内容を詳しく把握してもらい、成人循環器内科への紹介状(診療情報提供書)をもらいましょう。
今、受診されていない方は、①以前に受診していた病院にご相談頂くか、②日本成人先天性心疾患学会のホームページに載っている「専門医総合・連携修練施設」にご相談下さい。

診療当日は、今までの治療について話しましょう

紹介状をお持ちの場合はそこに詳しく書いてあると思いますが、分かる範囲で今までの病歴や治療内容を成人の専門医に伝えましょう。また、現在の状態も伝えましょう。これにより、今後の治療計画がスムーズに進みます。

日本成人先天性心疾患学会のホームページで施設を確認する

日本成人先天性心疾患学会のホームページに、「専門医総合・連携修練施設一覧」が掲載されています。どこを受診すれば良いか分からなければ、この一覧からお近くの病院を探してみて下さい。

ホームページは https://www.jsachd.org/specialist/list-facility/